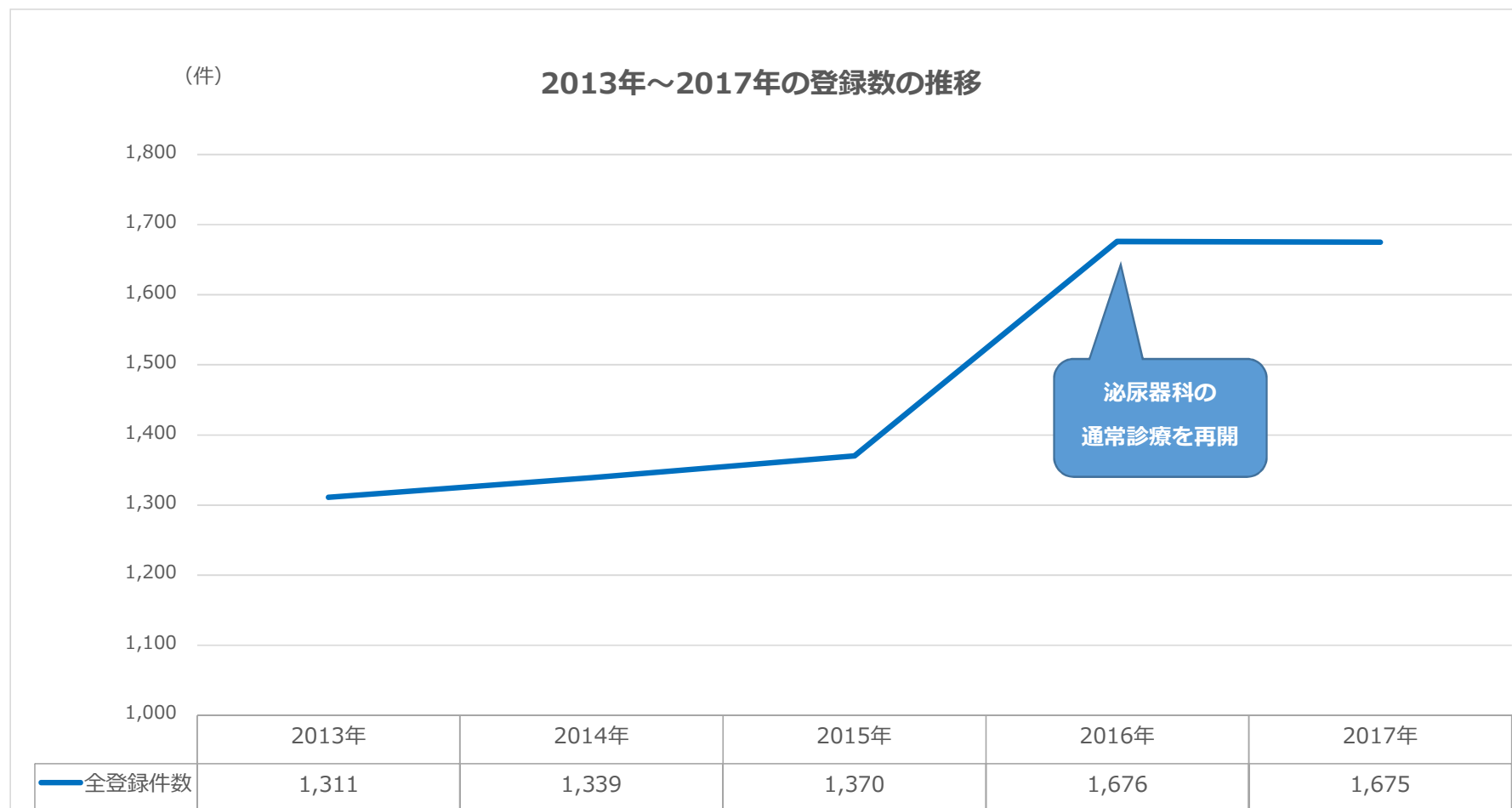


2013年～2017年の登録数の推移



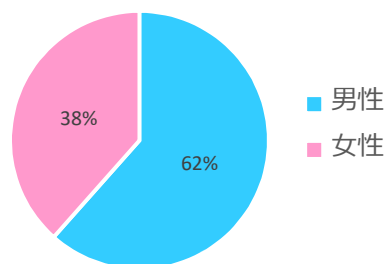
登録件数とは、当院をはじめて受診し、診断や治療（経過観察を含む）をした「がん」の件数です。

2016年は、4月に泌尿器科の通常診療を再開し、「前立腺がん」「膀胱がん」「腎臓がん」「尿管がん」等の患者様の受け入れが可能となり、約200件の登録増となりました。また、他の診療科においても診療体制の充実を図り、計300件の登録増となりました。

2017年は、「乳がん」患者の診療制限はありましたが、「血液・腫瘍内科」の充実を図り、2016年と同等となっています。

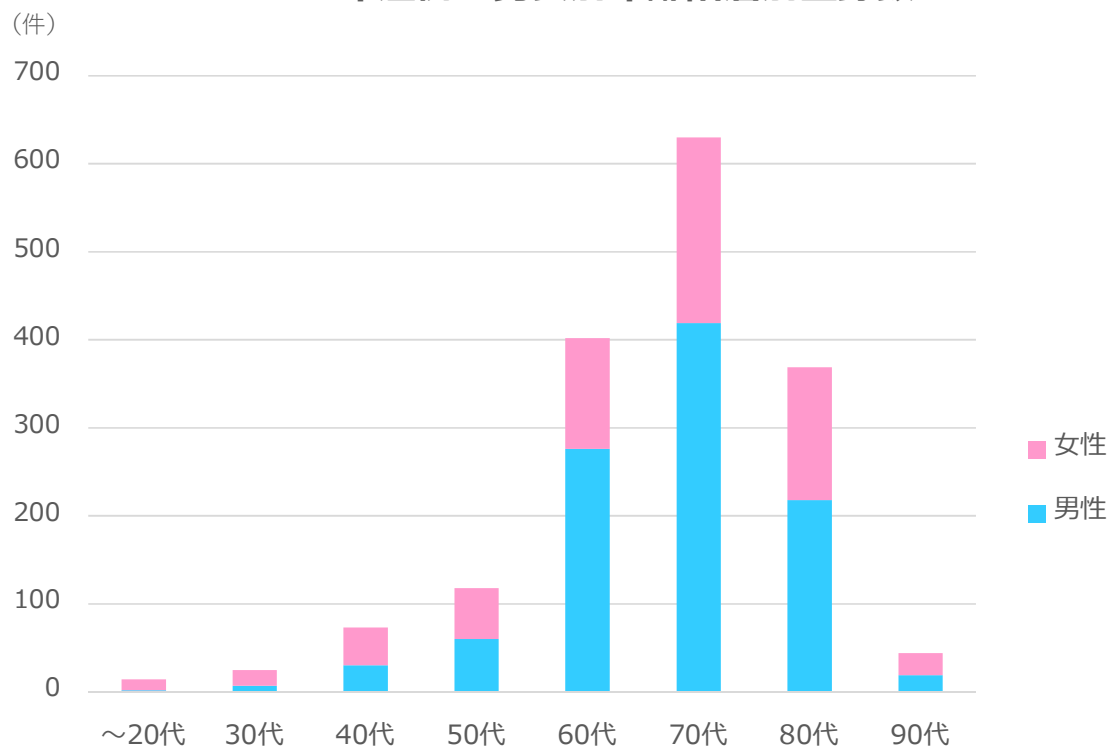
2017年症例 男女別・年齢階層別登録数

2017年症例 男女別割合



年度ごとの診療体制によって若干の変動はありますが、毎年ほぼ6対4で男性の登録数が多いです。

2017年症例 男女別年齢階層別登録数



全体の登録数は男性が多いですが、若い年齢層では女性の登録数が男性の登録数を上回っています。乳がんや子宮頸がんなど女性特有のがんは、比較的若いうちに発症することが多いです。

2017年症例 部位別登録数上位

○部位別登録数上位

() は、登録件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1位	大腸 (326)	大腸 (292)	大腸 (329)	大腸 (304)	大腸 (306)
2位	胃 (211)	胃 (224)	胃 (219)	肺 (222)	肺 (220)
3位	肺 (159)	肺 (198)	肺 (200)	胃 (220)	胃 (219)
4位	乳房 (101)	乳房 (121)	乳房 (111)	乳房 (157)	前立腺 (150)
5位	肝臓 (69)	子宮頸部・体部 (54)	皮膚 (83)	前立腺 (106)	悪性リンパ腫・白血病・ 他造血器腫瘍等(79)
6位	皮膚 (64)	肝臓 (53)	肝臓 (61)	肝臓 (90)	子宮頸部・体部 (79)
7位	子宮頸部・体部 (53)	皮膚 (50)	口腔・咽頭・喉頭 (55)	皮膚 (73)	皮膚 (69)
8位	膵臓 (53)	膵臓 (49)	膵臓 (51)	子宮頸部・体部 (65)	膀胱 (69)
9位	口腔・咽頭・喉頭 (51)	食道 (48)	食道 (46)	膵臓 (65)	肝臓 (68)
10位	食道 (41)	口腔・咽頭・喉頭 (47)	子宮頸部・体部 (36)	口腔・咽頭・喉頭 (59)	口腔・咽頭・喉頭 (55)

は、「五大がん」（「大腸」「胃」「肺」「肝」「乳房」）です。

* 2017年は、診療体制の都合上、「乳房」の患者を制限しております。

2016年4月より「前立腺がん（2016年院内がん登録全国集計男性第4位）」の診療体制の充実を図りました。

2017年4月より「血液がん」といわれる白血病や悪性リンパ腫の診療体制の充実を図りました。

○部位別登録数上位（男性）

（ ）は、登録件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1位	大腸（205）	大腸（175）	大腸（222）	大腸（172）	大腸（190）
2位	胃（156）	胃（170）	胃（169）	胃（161）	胃（160）
3位	肺（113）	肺（152）	肺（153）	肺（153）	肺（156）
4位	肝臓（50）	口腔・咽頭・喉頭（42）	皮膚（46）	前立腺（106）	前立腺（150）
5位	口腔・咽頭・喉頭（36）	食道（42）	肝臓（43）	肝臓（60）	膀胱（50）
6位	膵臓（35）	肝臓（38）	口腔・咽頭・喉頭（43）	膀胱（54）	肝臓（41）
7位	食道（32）	皮膚（30）	食道（43）	口腔・咽頭・喉頭（48）	悪性リンパ腫・白血病・ 他造血器腫瘍等（38）
8位	皮膚（26）	膵臓（29）	膵臓（24）	皮膚（37）	皮膚（37）
9位	悪性リンパ腫・白血病・ 造血器腫瘍等（22）	胆のう・胆管（25）	悪性リンパ腫・白血病・ 造血器腫瘍等（22）	膵臓（33）	口腔・咽頭・喉頭（35）
10位	胆のう・胆管（14）	悪性リンパ腫・白血病・ 造血器腫瘍等（22）	胆のう・胆管（20）	食道（29）	膵臓（35）

「五大がん」（「大腸」「胃」「肺」「肝」「乳房」）です。

2016年4月より「前立腺がん（2016年院内がん登録全国集計男性第3位）」の診療体制の充実を図りました。

2017年4月より「血液がん」といわれる白血病や悪性リンパ腫の診療体制の充実を図りました。

○部位別登録数上位（女性）

（ ）は、登録件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1位	大腸 (121)	乳房 (119)	乳房 (108)	乳房 (155)	大腸 (116)
2位	乳房 (101)	大腸 (117)	大腸 (107)	大腸 (132)	子宮頸部・体部 (79)
3位	胃 (55)	胃 (54)	胃 (50)	肺 (69)	肺 (64)
4位	子宮頸部・体部 (53)	子宮頸部・体部 (54)	肺 (47)	子宮頸部・体部 (65)	胃 (59)
5位	肺 (46)	肺 (46)	皮膚 (37)	胃 (59)	乳房 (47)
6位	皮膚 (38)	皮膚 (20)	子宮頸部・体部 (36)	皮膚 (36)	悪性リンパ腫・白血病・ 他造血器腫瘍等(41)
7位	肝臓 (19)	膵臓 (20)	膵臓 (27)	肝臓 (30)	皮膚 (32)
8位	膵臓 (18)	胆のう・胆管 (19)	肝臓 (18)	膵臓 (26)	肝臓 (27)
9位	胆のう・胆管 (18)	肝臓 (15)	卵巣 (14)	甲状腺 (24)	甲状腺 (22)
10位	悪性リンパ腫・白血病・ 他の造血器腫瘍等(18)	悪性リンパ腫・白血病・ 造血器腫瘍等(12)	悪性リンパ腫・白血病・ 造血器腫瘍等(13)	卵巣 (18)	腎・他の尿路 (21)

は、「五大がん」（「大腸」「胃」「肺」「肝」「乳房」）です。

* 2017年は、診療体制の都合上、「乳房」の患者を制限しております。

2017年4月より「血液がん」といわれる白血病や悪性リンパ腫の診療体制の充実を図りました。

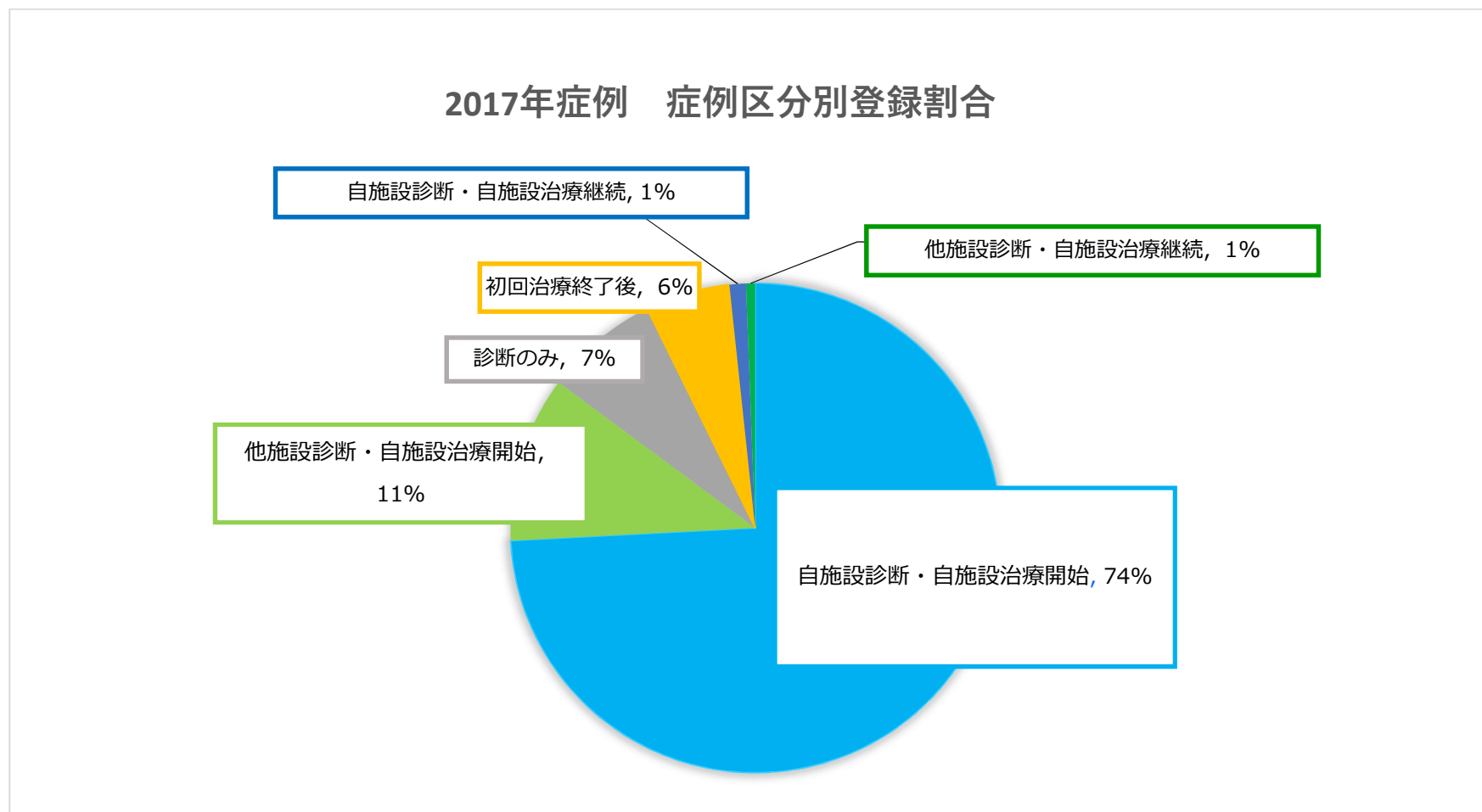
は、女性特有のがんです。

2017年症例 男女別・部位別登録数



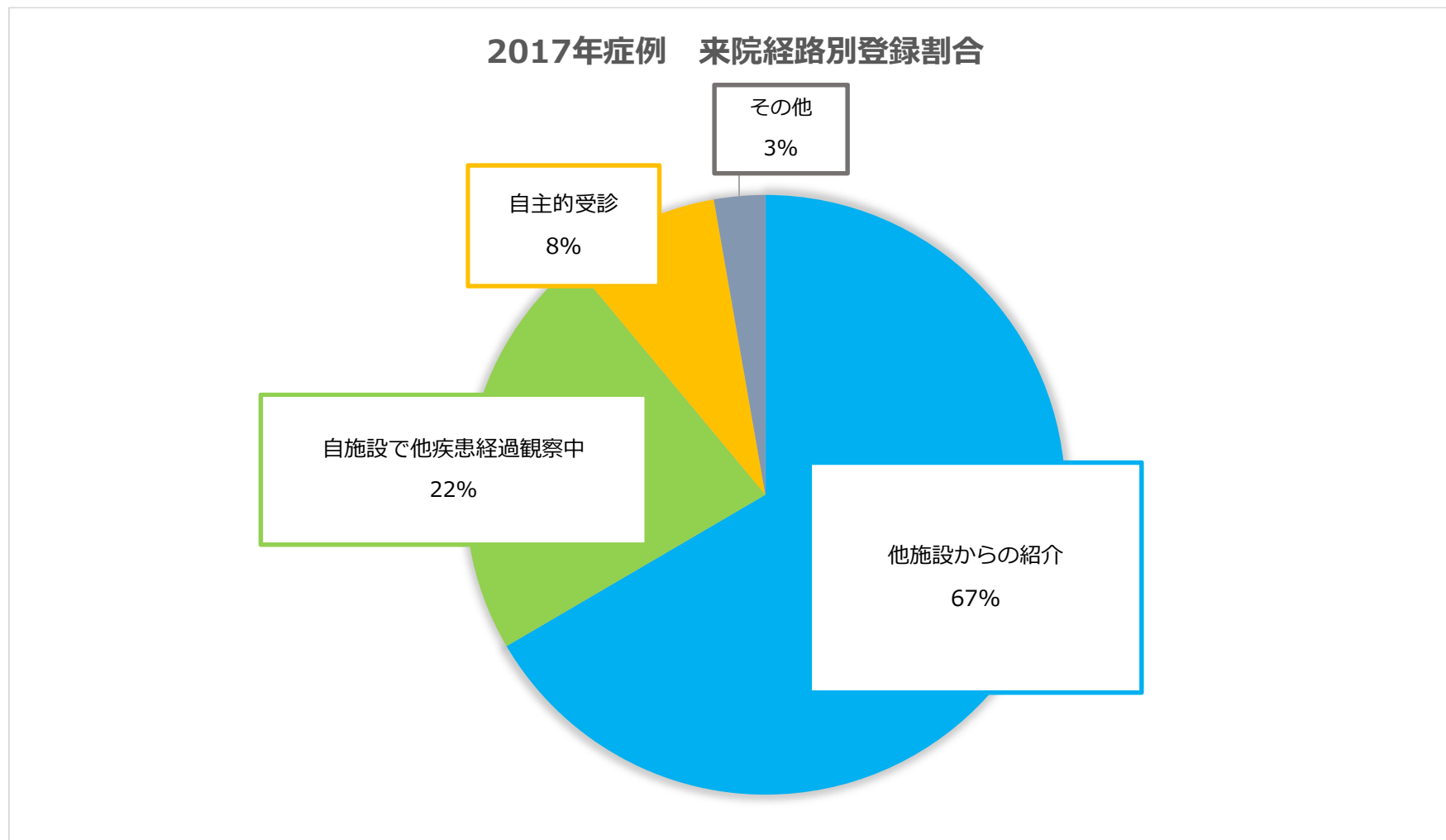
当院は、がん診療連携拠点病院として、あらゆるがんの診療をおこなっています。

2017年症例 症例区分別登録割合



症例区分とは、がんの診断および初回の治療の過程で、当院がどのように関わったかを判断するための項目です。当院は初回治療（経過観察含む）を全登録数の87%の症例に行っています。その中でも、診断から治療まで継続して受診している症例が74%と多数を占めています。診断のみの症例は7%、初回治療終了後に緩和医療等の目的で受診する症例が6%です。

2017年症例 来院経路別登録割合



患者さまがどのような経路によって当院を受診したのかを把握する項目です。

他の医療機関からの紹介状を持参して、がんの診断・治療（経過観察含む）のために、もしくは、診断後の治療のために、受診する症例が全登録数の67%を占めています。

当院で他の疾患の経過観察中に発見される症例は全登録数の22%で、発見されるがんの部位は、大腸・肺・胃が上位3位です。